

<第3回オンライン講演会 参加した皆さまからの感想>

- ・多様性の時代の中、とても参考になる講演会でした。ありがとうございました。
- ・非常に有意義な講演でした。LGBTQについて先生や親や周りの大人がどう発信していくのか、このような講演を基に議論、そして実践していくことが重要と思いました。また、今の親世代はジェンダーアイアスの強い世代だと思います。最近よく聞く「アンコンシャスバイアス」も取り上げてはどうかと思いました。
- ・本日は貴重なお時間を長時間ありがとうございました。
- ・実体験を伴う清水さんのお話には感動させていただきました。今後も、子ども達の為になるお話が何えると嬉しいです。本日はありがとうございました。
- ・興味深いお話ありがとうございました。どこか自分から遠い話とおもっておりましたが、13人に1人という非常に身近なことと気づかされました。
- ・このような問題を理解して、誰もが安心して生活できる社会を構築するには、やはり当事者の方々の話や、事例を見聞きするのが一番だと思います。たくさん触れて行くことで、理解し合えたりどうすることが良いのか解決策も見えてくると思います。本日はありがとうございました。
- ・たくさんの人間が、自分のあたりまえが他者の当たり前ではないことを知ることから始められるといいなと思いました。一つ、例えば、ひげが生えている人が、お化粧品をしていたりすると、つい(いつも見ている女性とは違うので)ギョッとして見てしまうことが、私にも合ったなと正直思うので、子どもが見つめてしまうこともあるのかなと思うのですが、そういうとき、一人の人間として、どのような言葉を自分にも人にもかけたらいいのかなと質問したかったです。
- ・本日はありがとうございました。清水さんご自身の体験を聞かせていただき感謝致します。これからますます多様性が求められる時代になると思います。一人ももれなく幸せに暮らせる社会になるように、私自身がまず、固定観念にとらわれないようにしていこうと思いました。
- ・今回はあまり話されていませんでしたが、カミングアウトやアウトティングについても知識として知っておくべきと思います。学校や家庭にこれらの情報を持ち帰り、大人が発信していけるようになれば良いと思います。
- ・清水さん、笑顔がとても素敵な方で、なのに子供時代の写真には笑顔がなく、もっと早くから自分らしさを出せる世の中だったらよかったのにと思いました。
- ・本日は貴重な講演をありがとうございました。身近なこととして受け止めていきたいと思います。
- ・本日はありがとうございました。マイノリティを抱えても抱えてなくても、お互いを理解し合うことは生きることの基本だなと感じました。全てを受け入れる温かい未来になるよう、まずは親世代が理解をし合うことが大事だと感じました。
- ・本日の清水様の講演、ありがとうございました。知識や理解を深めるため、PTAでも皆さんと分かち合い、生徒たちへも大切なことを伝えられるよう環境作りしていきたいです。

・本日は参考になるお話ありがとうございます。悩んでいる子供達が悩まず生活出来るよう切に思いました。

・今日の話を書いていない人に伝えていきたいと思います。娘とも話合いたいです。ジェンダーの問題だけでなく何でも相談できるような学校、世の中になりますように。自ら命を断つ子が1人もいなくなることを願います。

・興味深い講演でした。全ての子どもが自分らしくいられる世の中にしていかれるように私自身も意識したいと思いました。ありがとうございました。

・たくさんの今後に参考になる内容でありました。今後の生活等の参考にさせていただきます。特に小学校の段階でこんなにも多くの自覚が芽生えていることに驚きました。

・本日は普段聞けない貴重なお話ありがとうございました。子ども達にも伝えたいとおもいます。

・普段の会話の中で知識がなくて傷つけるような発言をしていることがあるかも知れないと自分自身を振り返りました。性的マイノリティと思わず、「誰もがマイノリティ」と言う意識が大事だとも実感し、これからは活かしていきたいと思いました。書籍などももっと読み知識を増やしていきたいですし、周りに広めていきたいです。

・本日はためになる講演会をありがとうございました。悩みを抱える方々の多くが自殺を考えてしまっている現状、また、12.5人に一人が大小ありながらもそのような思いを感じているという統計をみて、とてもびっくりしました。またびっくりすること自体がもしかしたら間接的にそういった方々にとって何かしらのストレスを感じさせているのかもと思います。難しい問題にするのではなく、だれもが当たり前にとらえられるようこれからの社会がなっていくように願います。

・本日はありがとうございました。清水さんがここまでの人生、本当に悩んで苦労されたことが伝わってきました。今日いただいたお話を活かして、同じ思いをされている人に道を開いていけるように何か行動に移していきたいと思いました。と同時に人と違う見た目の人と目があってしまったときにどのような対応をしてほしいか、見て見ぬふり？笑顔でにっこり？こんにちはととりあえず挨拶？を知りたいです。

・清水さんのお話で救われる方が大勢いらっしゃると思います。私も今日のお話でいかに理解することが重要かよく知り得ました。正しく知り、理解を深めていきたいと思います。本日はありがとうございました。

・LGBTについて知るきっかけとなり、大変学ばせ頂きました。一人ひとりの人間がその人らしく生きていきやすい社会とは、まずは子どもをとりまく身近な大人が意識したり、考えながら、コミュニケーションをとることは大切だと感じます。貴重なお時間を、清水さん、県高P連の方々、ありがとうございました。私自身が意識をして過ごしていきたいと思います。

・人それぞれの違いを受け入れることの大切さと難しさを、あらためて感じました。最近、ドキュメンタリー映画を見ました。

・今日は貴重な公演をどうもありがとうございました。当事者としてのお話、とても心に沁みました。何気なく発してしまっている言葉使い、意識をまずは自分自身から変えていこうと思いました。

・お互いに多様性を理解して受け入れることが本当に大事だと思いました。清水さんのお話を聞いてよかったです。学びの機会をありがとうございました。

・自分らしく生きることが辛く難しいなんて当たり前であって欲しい

・本日は講演ありがとうございました。zoomに慣れていなく、見逃してしまったスライドもありましたが清水さんのお話は遅滞なく拝聴する事が出来ました。清水さんのような方々のご尽力のおかげで、少しずつ多様性が認められる社会になってきたと思います。でも私も認めているつもりだったのですが、私には考えが及ばない所でも傷つく事があるのだと知りました。もっともっと寄り添い、気持ちを想像して向き合いたいなと思いました。娘もこれから中学で、もしかしたら辛い事もあるかもしれません…。でも私も味方でいたいし、世の中にもたくさん味方がいるって事を伝えたいです！本当にありがとうございました。

・清水さん、ご講演ありがとうございました。幼い頃から感じていた葛藤の苦しさ、周囲からの偏見、大学で友人が受け入れてくれた時の安心感など、聴いていて胸が苦しくなりました。自覚の有る無し、困り感の有る無しに関わらず、そういった方が自分の側にもいるのだと常に意識して、古くからの「こうあるべき」を一旦立ち止まって考え直す習慣をつけたいと思います。全ての人は「多様」であり、「マイノリティ」などという言葉が無くなる世界が来ることを願います。

・何事も自分の立場や生活を中心に考えてしまうと、身近ではないから、という理由でこうしたテーマは単に聞いておくだけにとどめてしまいがちです。そういうところで自分自身の考えの偏りにも気づかされました。聞く前と聞いた後では、LGBTという単語に対する見え方も変わってきました。ここからがまず第一歩かなと思います。ありがとうございました。

・性別に関係なく自分らしく、自分とは何なのか、本当の自分とは、を考える機会になりました。ありがとうございました。

・本日は貴重なお話をありがとうございました。性的マイノリティは人口の約8.9%ということに大変驚きました。まずは知ることから始めようと思います。誰もが自分らしく生きられる社会になりますように。

・男らしく女らしく、という言葉にとらわれている社会が変わればいいなと思います。多様性を理解すること、大事ですよ。小学校の学童で働いていますが、子どもたちとテーマを決めて話し合うつもりです。今日はありがとうございました。私も小学生時代に少年サッカーに入り男子の中でボールを蹴っていました。中学時代にサッカー部への入部を断られたショックはずっと消えませんでした。「中学生になったら体の差が出てくるから危ない」とかいう理由で。その30年後その顧問に会ったときにそのエピソードを伝えたところ、「すまなかった。時代だよ。」と言われました。これから学校や親や社会が学びを深め、子どもたちがありのままに生きやすい社会になればいいとあらためて思いました。

・清水さんの実体験に基づくお話、心に刺さりました。またLGBTの方が身近にもたくさんいらっしゃる事を知り、認識を新たにしました。清水さん、高P連の事務局の方々、本日は本当にありがとうございました。

・性は人の数だけあること、それぞれはっきりした区切りなくグラデーションがあること、大切なことは知ること、側に当事者の方が居られるということを知ること。私は、「性的マイノリティ」

という言葉は、特別扱いという感じがして差別や偏見となるような感じがしました。法制度やこうしなさいという通達ではどうにもならない、一人一人に根付いている感覚を変えていくことはとても時間がかかることだと思います。周りの理解者の方の存在はとても重要であったと思いますが、ご自身のつらかったであろう、様々な体験をお聞かせいただき、頭の下がる思いです。「自分の当たり前が相手の当たり前ではない、大人の固定観念や相手の気持ちを考えない発言で傷ついている人がいる」ということは、姓だけでなく、人と人が生活する上でごく自然で当たり前であるべきことだと思います。私の娘は中学生ですが、高校になったら毎日スカートを履かなくてはいけないの？ズボンが選べる学校、リボンではなくてネクタイのできる学校に行きたい。足や肌を出したくないといいます。祖父母の世代は、そんなの女の子らしくないといいます。どのような方も「自分らしく」生きられるような社会に。どんな時も一番の理解者でありたいと思いました。貴重なお話をお聞かせいただき、本当にありがとうございました。